



# 滋賀県 景況調査結果報告書

2020年度第3四半期  
(2020年10～12月)

## 目次

I.調査結果.....	2
II.今期の状況.....	3
III.規模別・業種別.....	9
IV.回答企業のコメント.....	23
V.追加調査結果.....	24

滋賀県商工観光労働部商工政策課

# I. 調査結果



## 【調査概要】

滋賀県では、四半期毎に県内の景気動向の把握を目的として景況調査を実施しております。今期(2020年10～12月期)の調査結果の概要は次のとおりです。

また、滋賀県景況調査報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

- ・今期の県内企業の景況は、業況、生産、売上、経常利益の各DIはマイナス幅が縮小した。雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。
- ・来期(2021年1～3月期)の見通しについては、業況、生産、売上の各DIはマイナス幅が縮小し、経常利益DIは変わらない見通し。雇用の水準DIはマイナス幅が拡大する見通し。

## 【調査方法】

- ①調査期間……………2020年11月
- ②調査企業数……………県内の事業所(750社)
- ③調査方法……………郵送アンケート
- ④回答企業数……………259社(回答率34.5%)

(社)

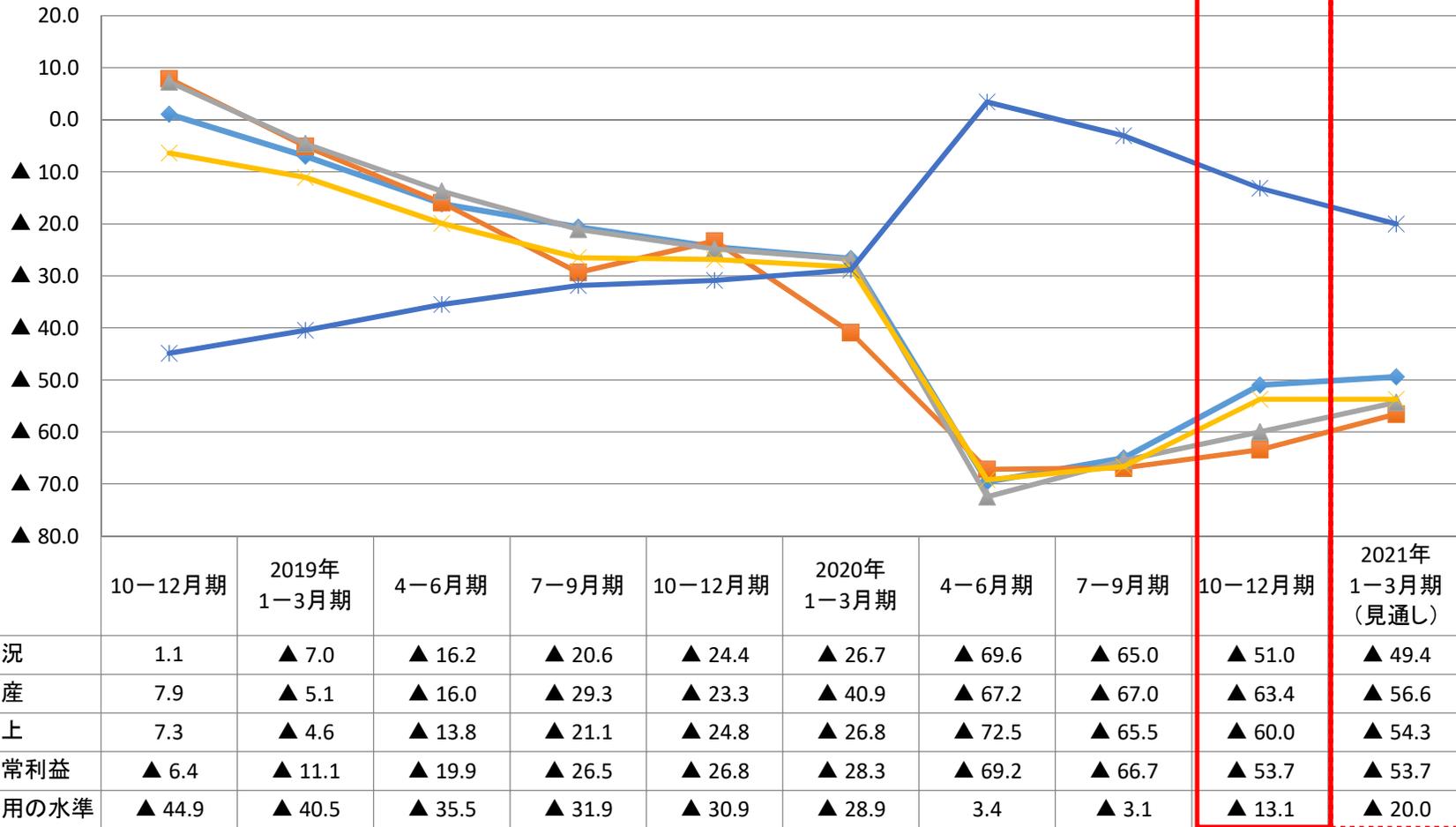
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	18	2	0	3	7	30
中小企業	108	20	7	18	76	229
合計	126	22	7	21	83	259
産業別比率	48.6%	8.5%	2.7%	8.1%	32.0%	

※本調査でのDI(ディフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値。

今期(実績)の業況、生産、売上、経常利益、在庫数量の各DIは前年同期と比較。資金繰りDIは3か月前と比較。採算の水準、引合、雇用の水準の各DIは今期水準の軸を用いて算出。

来期の見通しについては、業況、生産、売上、経常利益、在庫数量の各DIは3か月後の前年同期と比較。資金繰りDIは3か月後水準の軸を用いて算出。採算の水準、引合、雇用の水準DIは3か月後水準の軸を用いて算出。

## Ⅱ.各種DIの動き(実績)と来期の見通し



今期(2020年10~12月期)の県内企業の景況(前期(2020年7~9月期)との比較)

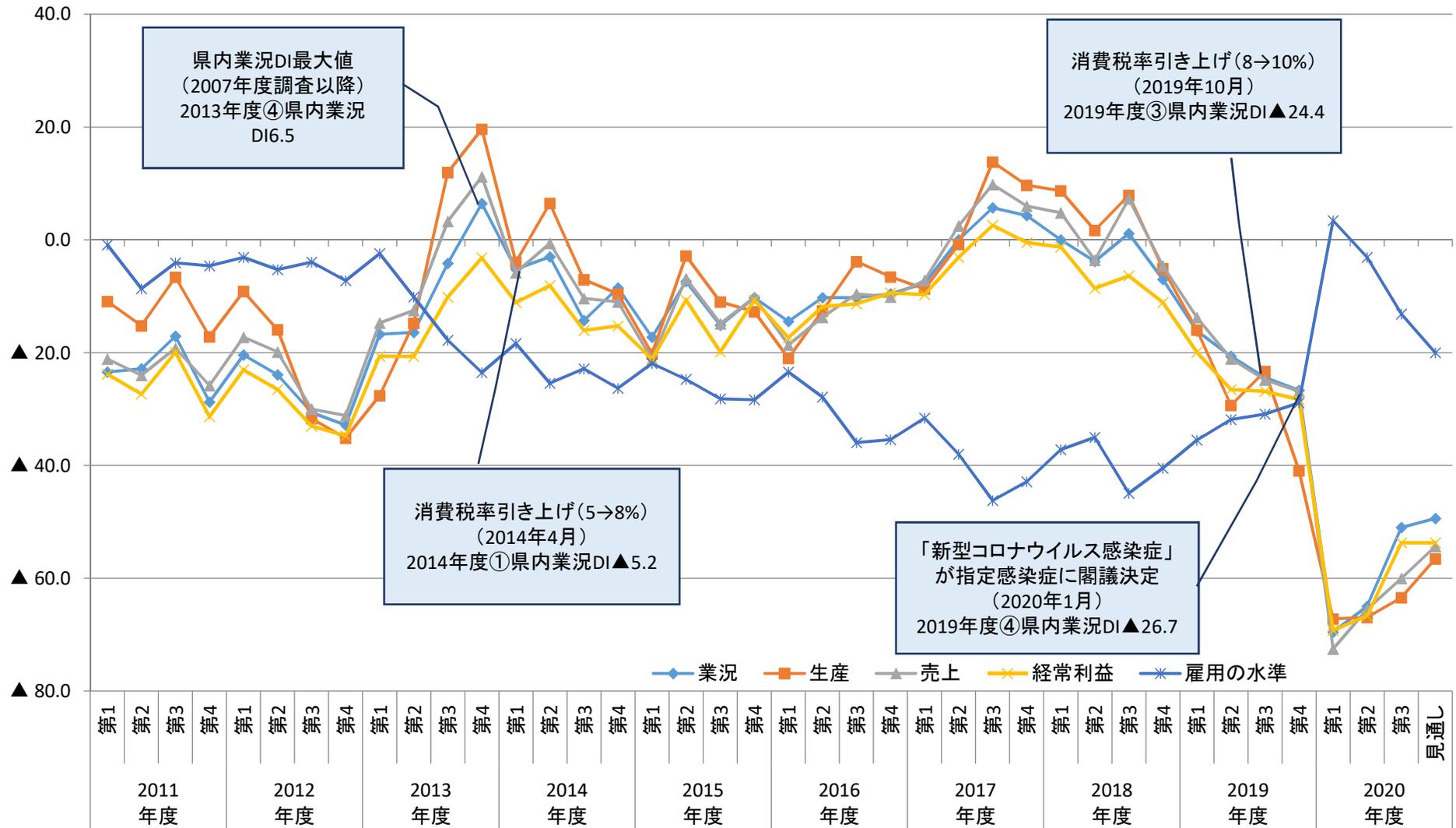
- ・業況、生産、売上、経常利益の各DI: マイナス幅が縮小した。
- ・雇用の水準DI: マイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

来期(2021年1~3月期)の見通し

- ・業況、生産、売上の各DIはマイナス幅が縮小し、経常利益DIは変わらない見通し。
- ・雇用の水準DIはマイナス幅が拡大する見通し。

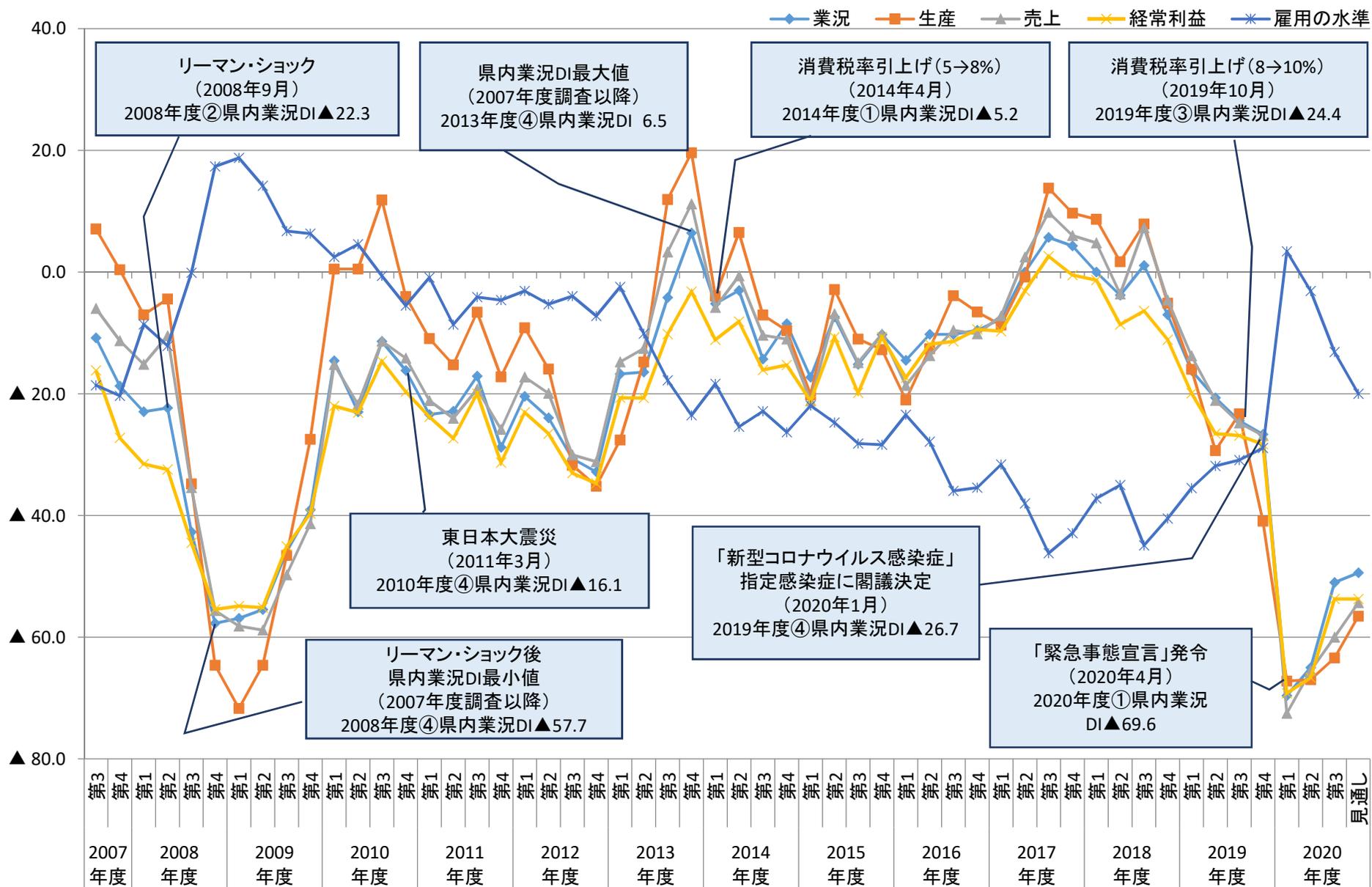
## Ⅱ .DIの推移: 過去10年分

(2011年度第1四半期～2020年度第3四半期)

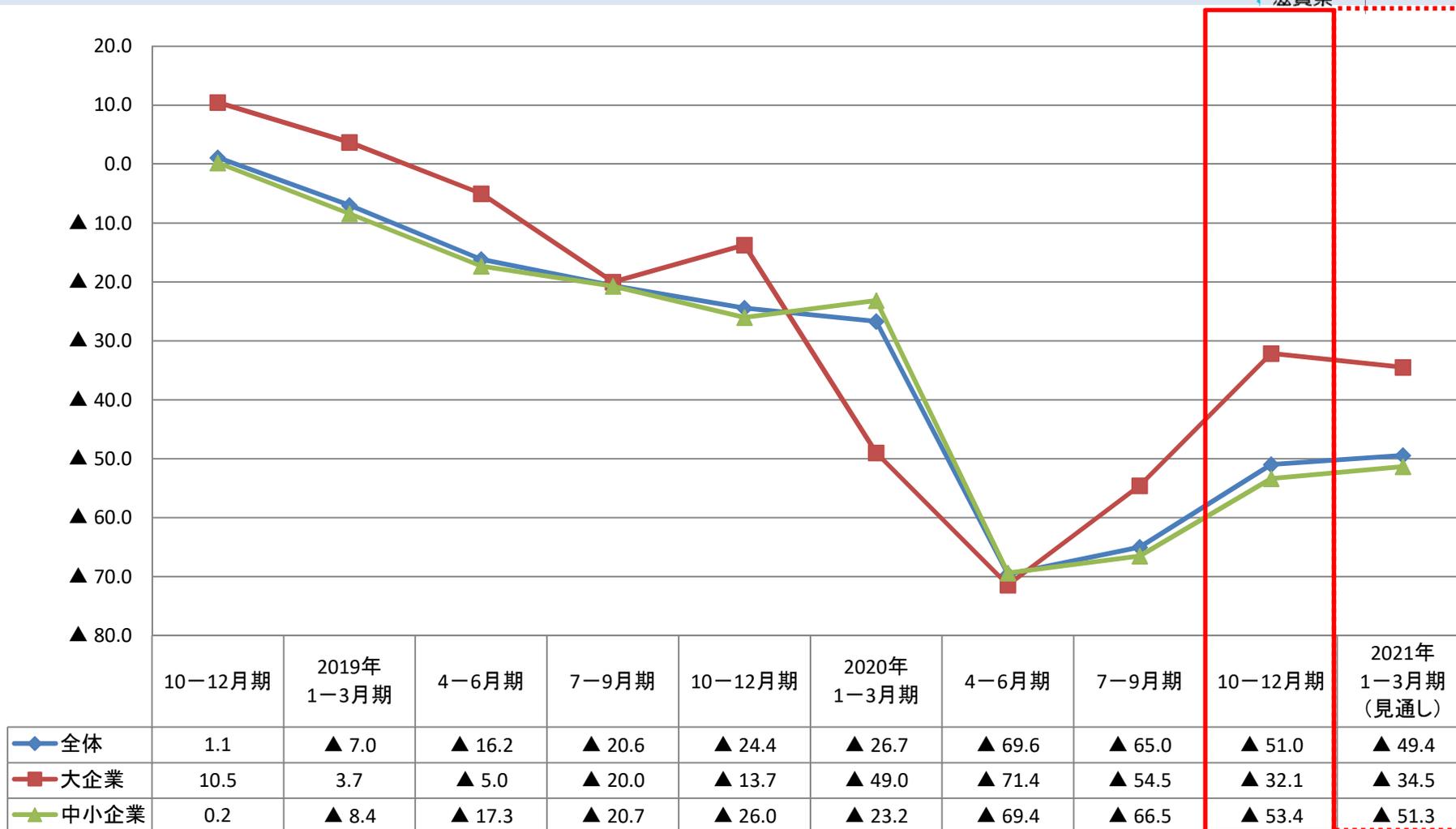


# 【参考】

## Ⅱ.DIの推移:2007年度第3四半期～2020年度第3四半期

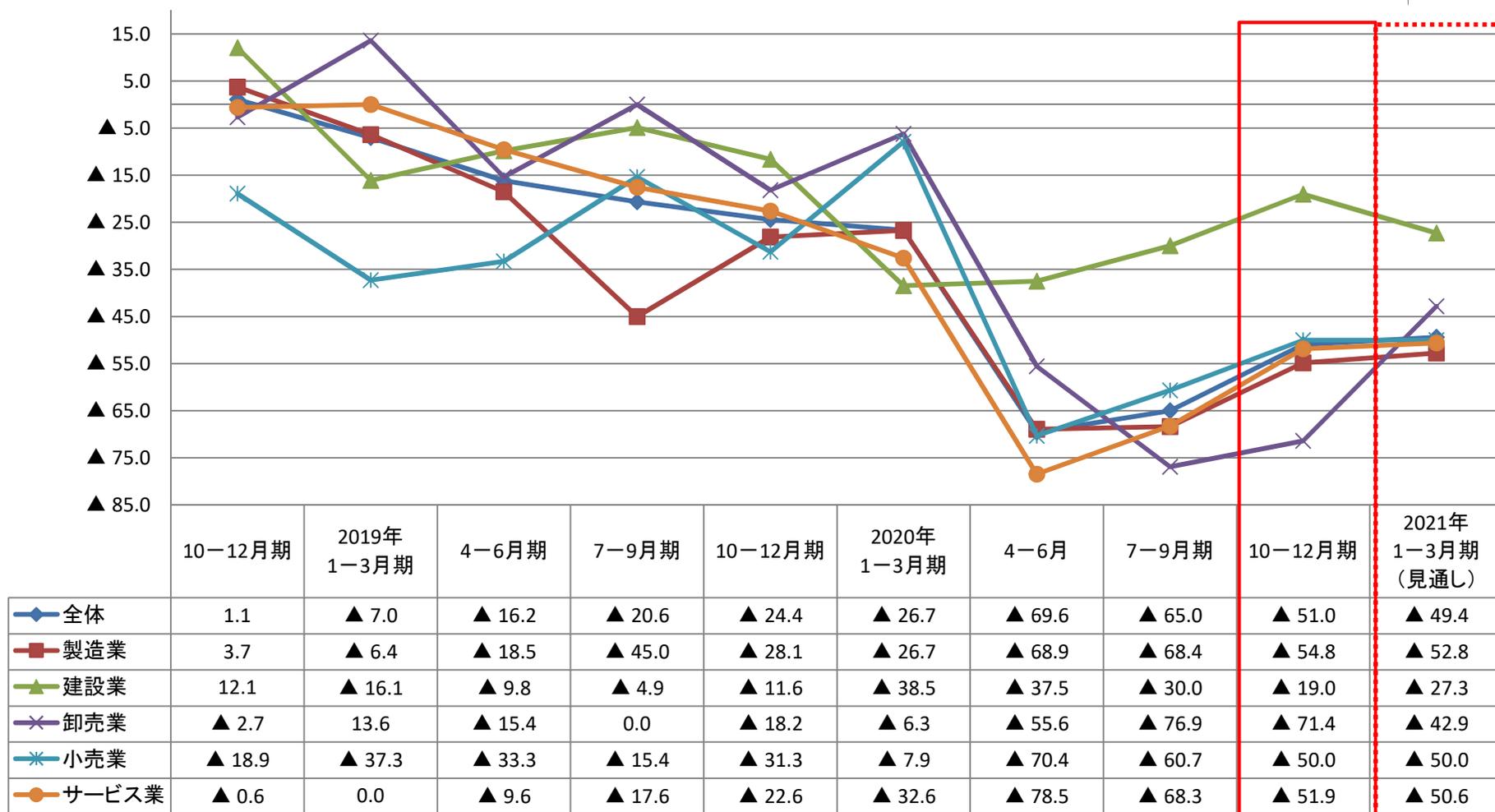


## Ⅱ. 企業規模別業況の動き(実績)と来期の見通し



- ・全体の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・大企業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・中小企業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

## Ⅱ.業種別業況の動き(実績)と来期の見通し



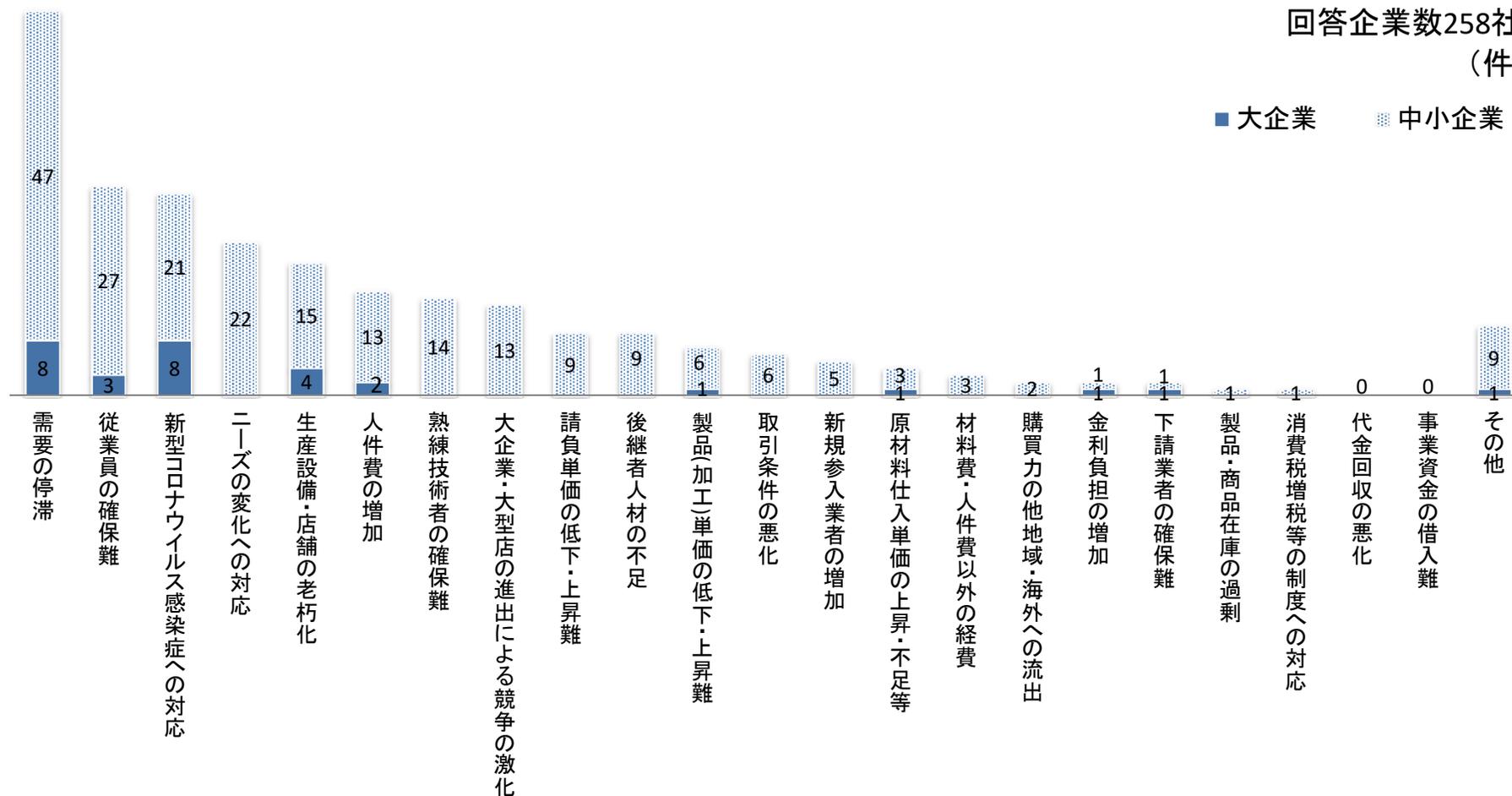
- ・製造業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・建設業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・卸売業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・小売業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べ変わらない見通し。
- ・サービス業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

## Ⅱ.経営上の問題点



回答企業数258社  
(件)

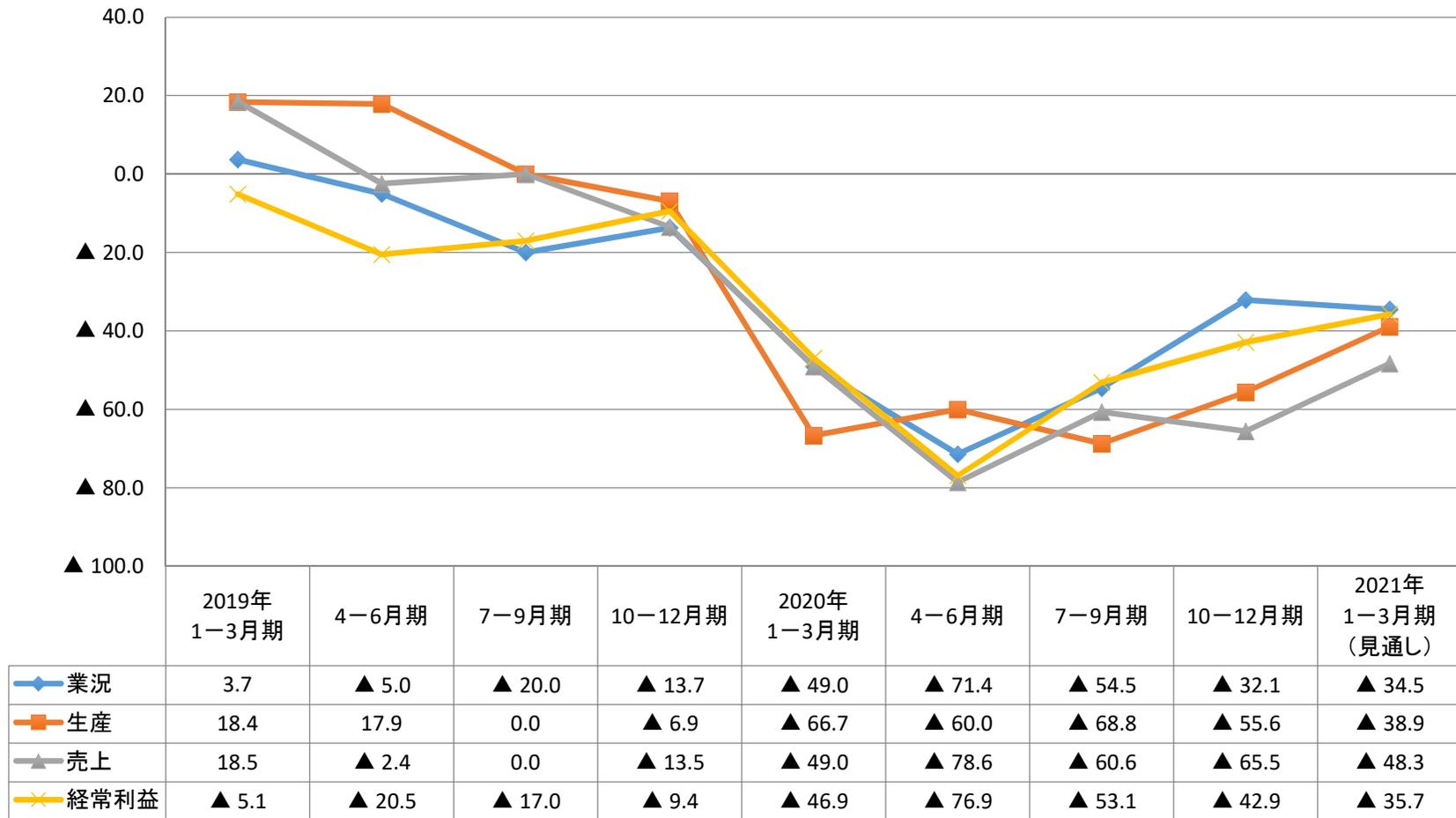
■ 大企業    ■ 中小企業



- ・全体:「需要の停滞」が最多となっており、「従業員の確保難」「新型コロナウイルス感染症への対応」の順となっている。
- ・大企業:「需要の停滞」「新型コロナウイルス感染症への対応」が最多となっており、「生産設備・店舗の老朽化」の順となっている。
- ・中小企業:「需要の停滞」が最多となっており、「従業員の確保難」「ニーズの変化への対応」の順となっている。

## Ⅲ.【大企業】①

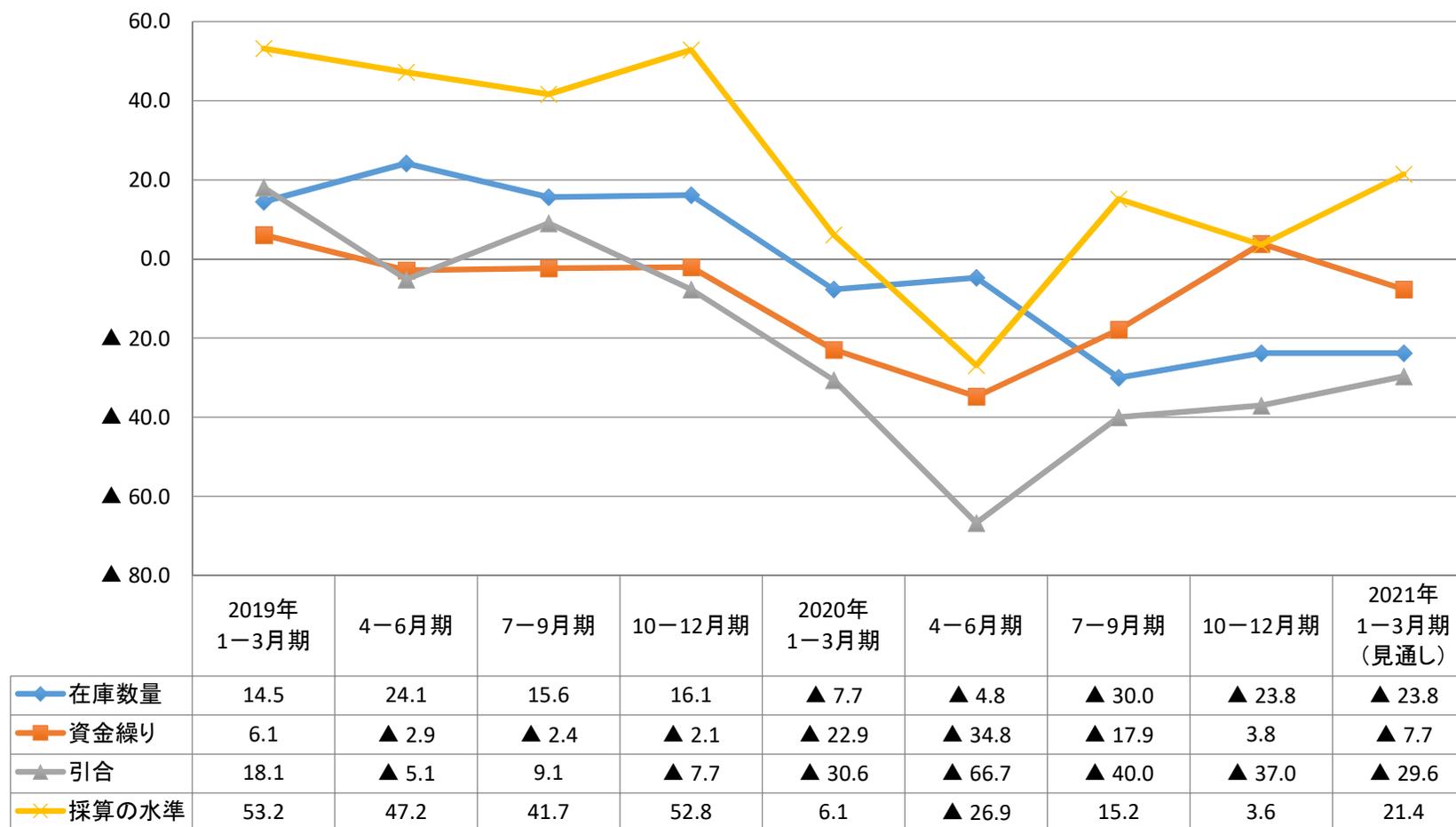
### 業況・生産・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲32.1と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲34.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・生産DIは▲55.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲38.9と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲65.5と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲48.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲42.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲35.7と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【大企業】②

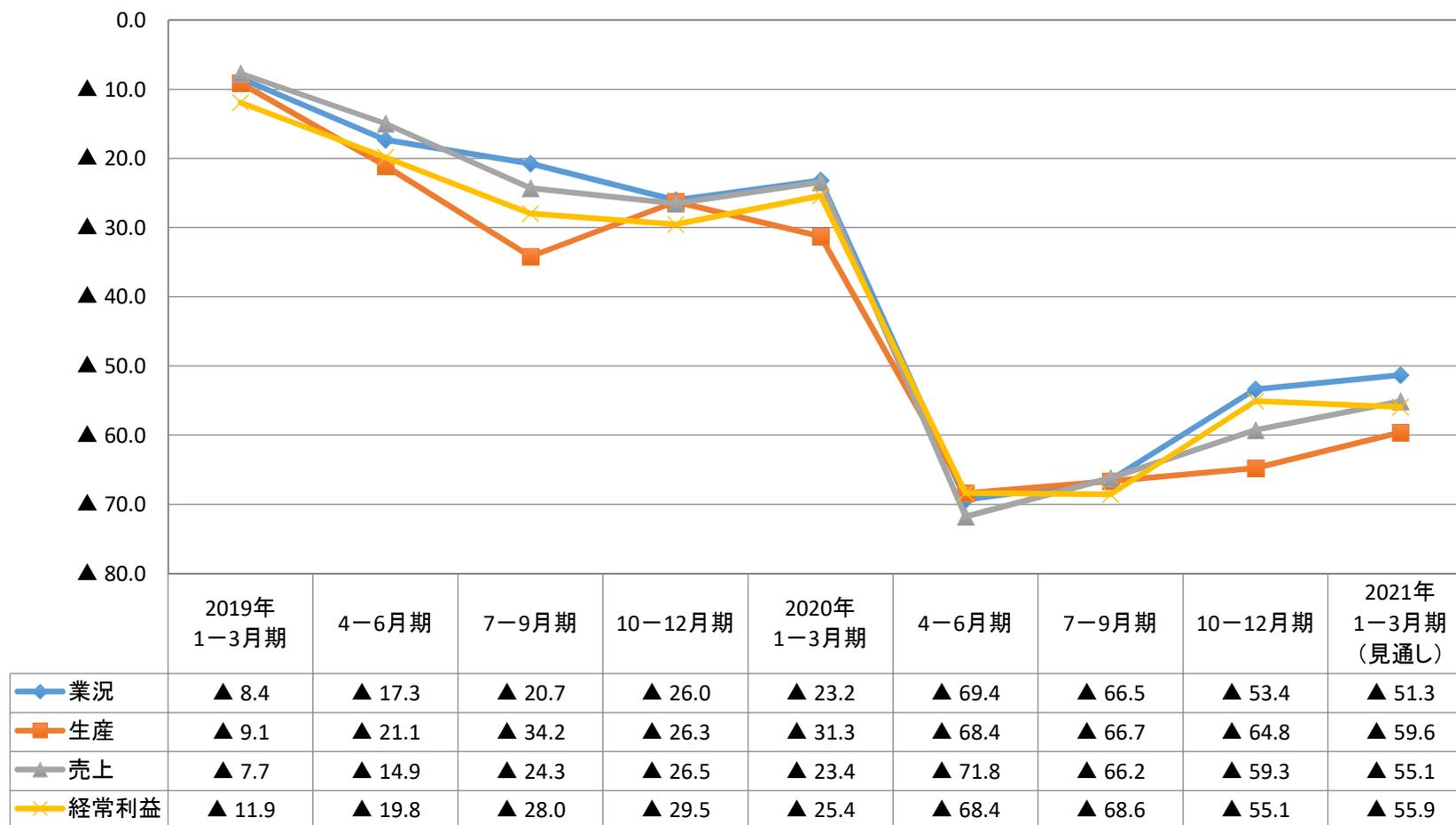
## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲23.8と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲23.8と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・資金繰りDIは3.8と、前期に比べマイナスからプラスへ転じた。来期は▲7.7と、今期に比べプラスからマイナスへ転じる見通し。
- ・引合DIは▲37.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲29.6と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・採算の水準DIは3.6と、前期に比べプラス幅が縮小した。来期は21.4と、今期に比べプラス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【中小企業】①

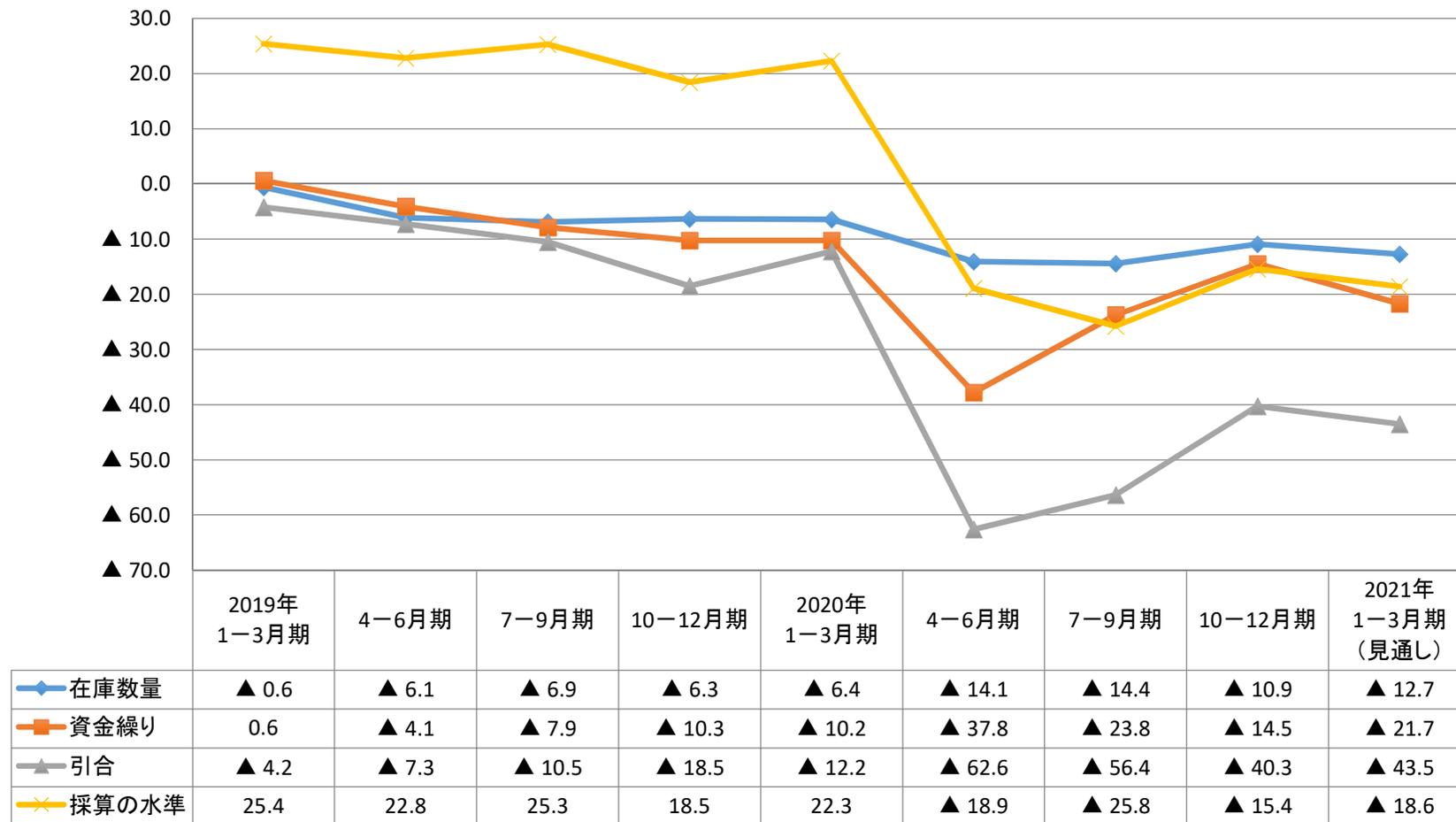
### 業況・生産・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲53.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲51.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・生産DIは▲64.8と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲59.6と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲59.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲55.1と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲55.1と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲55.9と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【中小企業】②

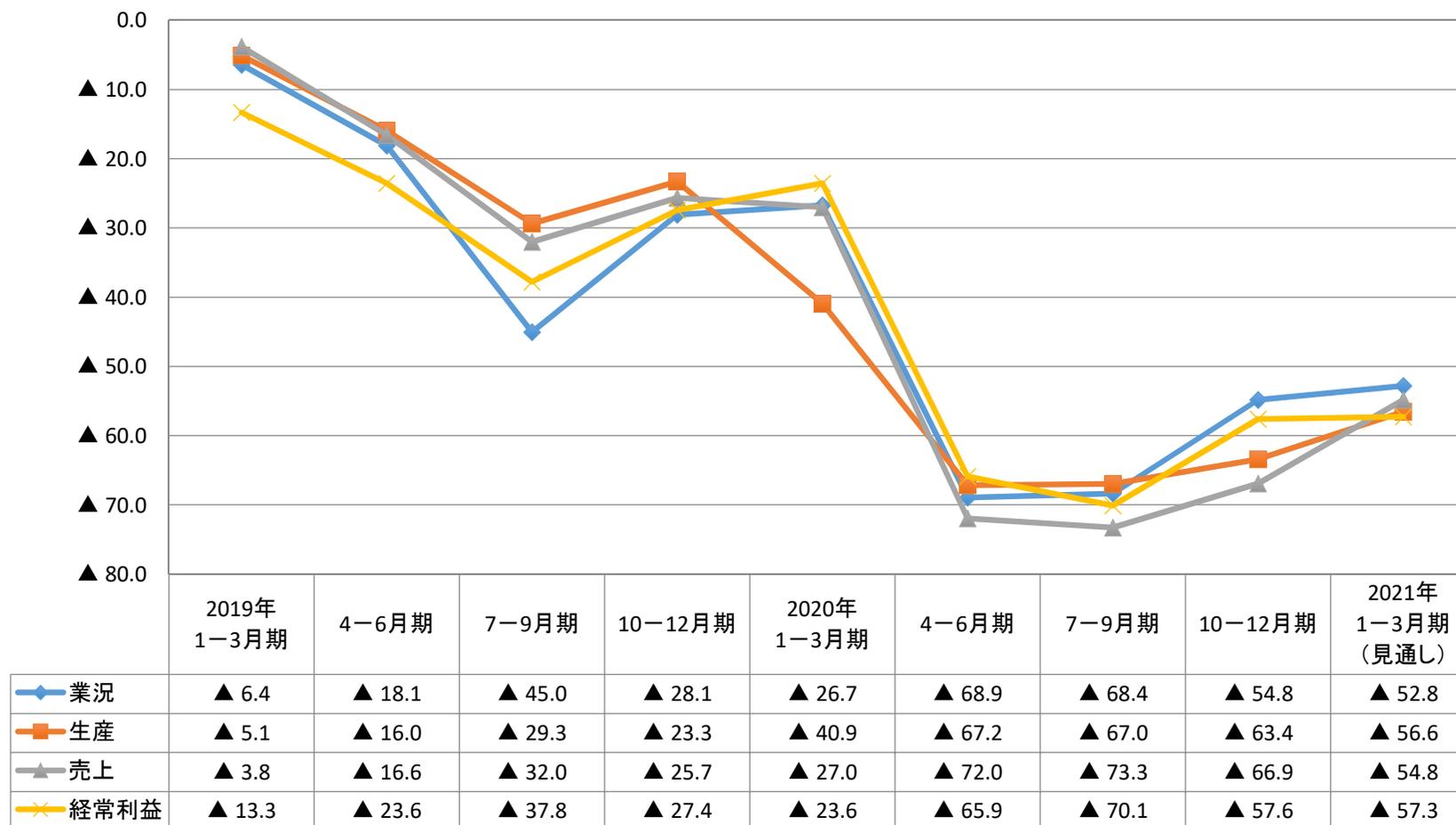
### 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲10.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲12.7と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲14.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲21.7と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲40.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲43.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・採算の水準DIは▲15.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲18.6と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【製造業】①

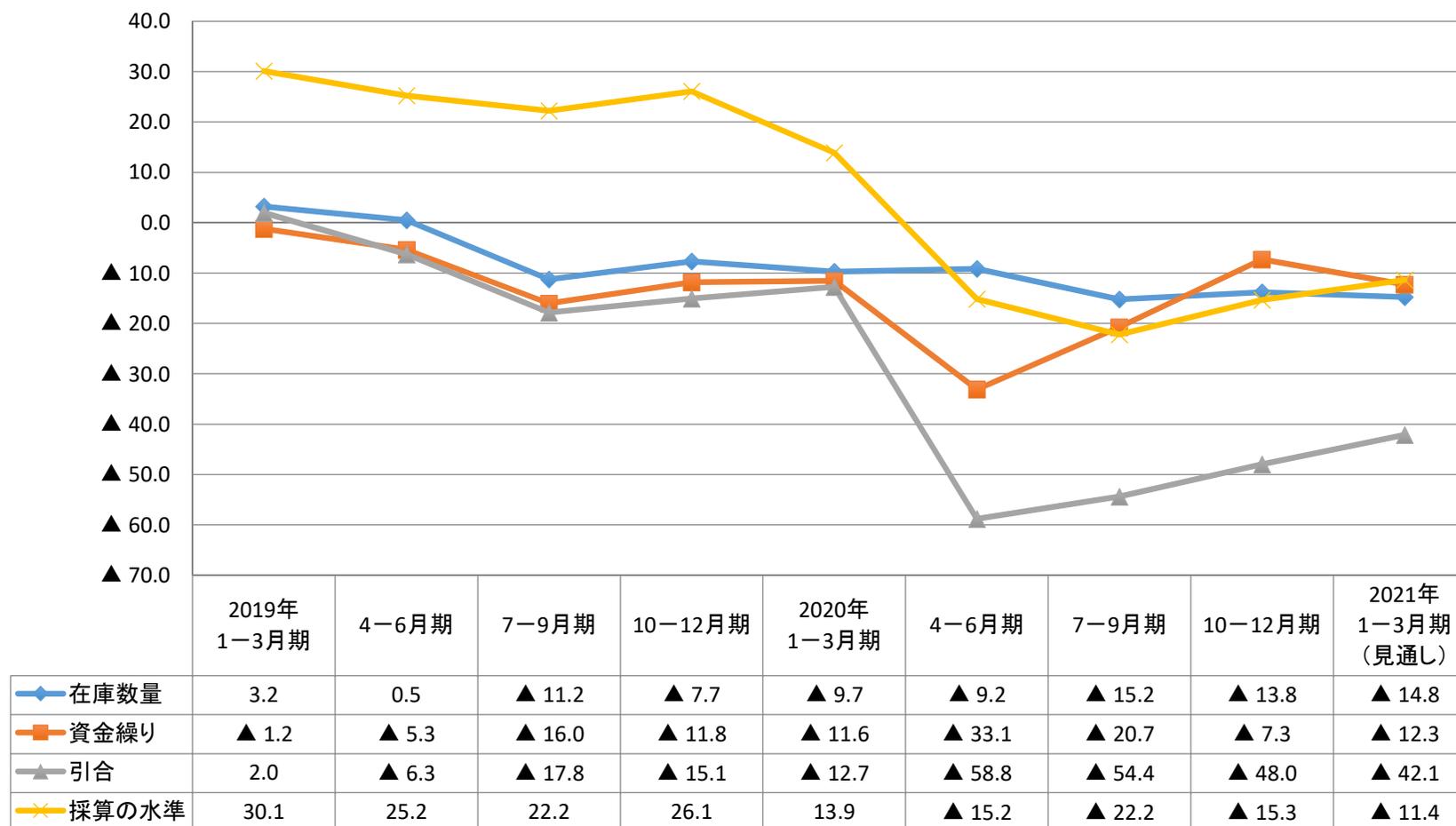
### 業況・生産・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲54.8と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲52.8と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・生産DIは▲63.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲56.6と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲66.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲54.8と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲57.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲57.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【製造業】②

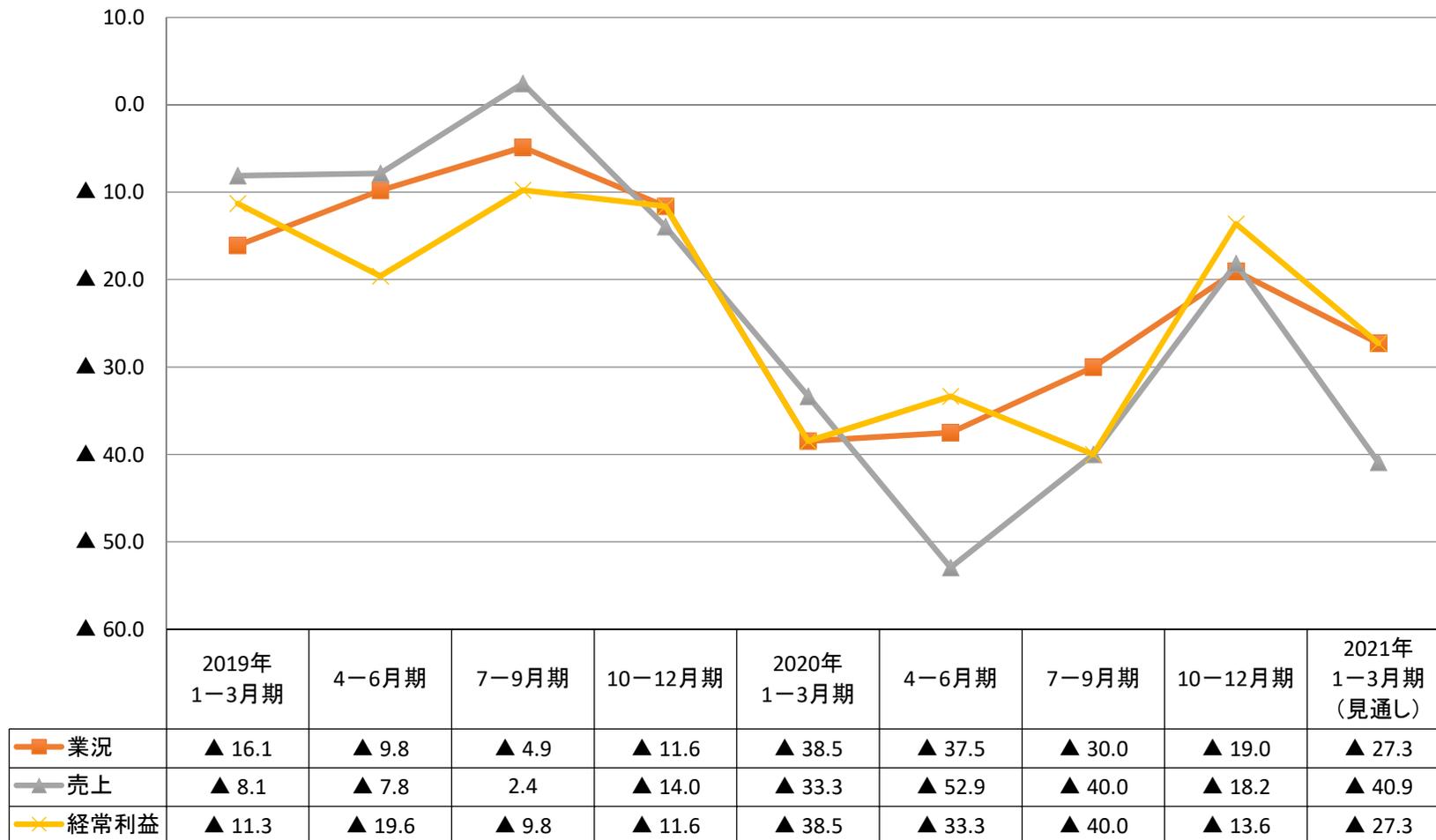
## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲13.8と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲14.8と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲7.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲12.3と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲48.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲42.1と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・採算の水準DIは▲15.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲11.4と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

## Ⅲ.【建設業】①

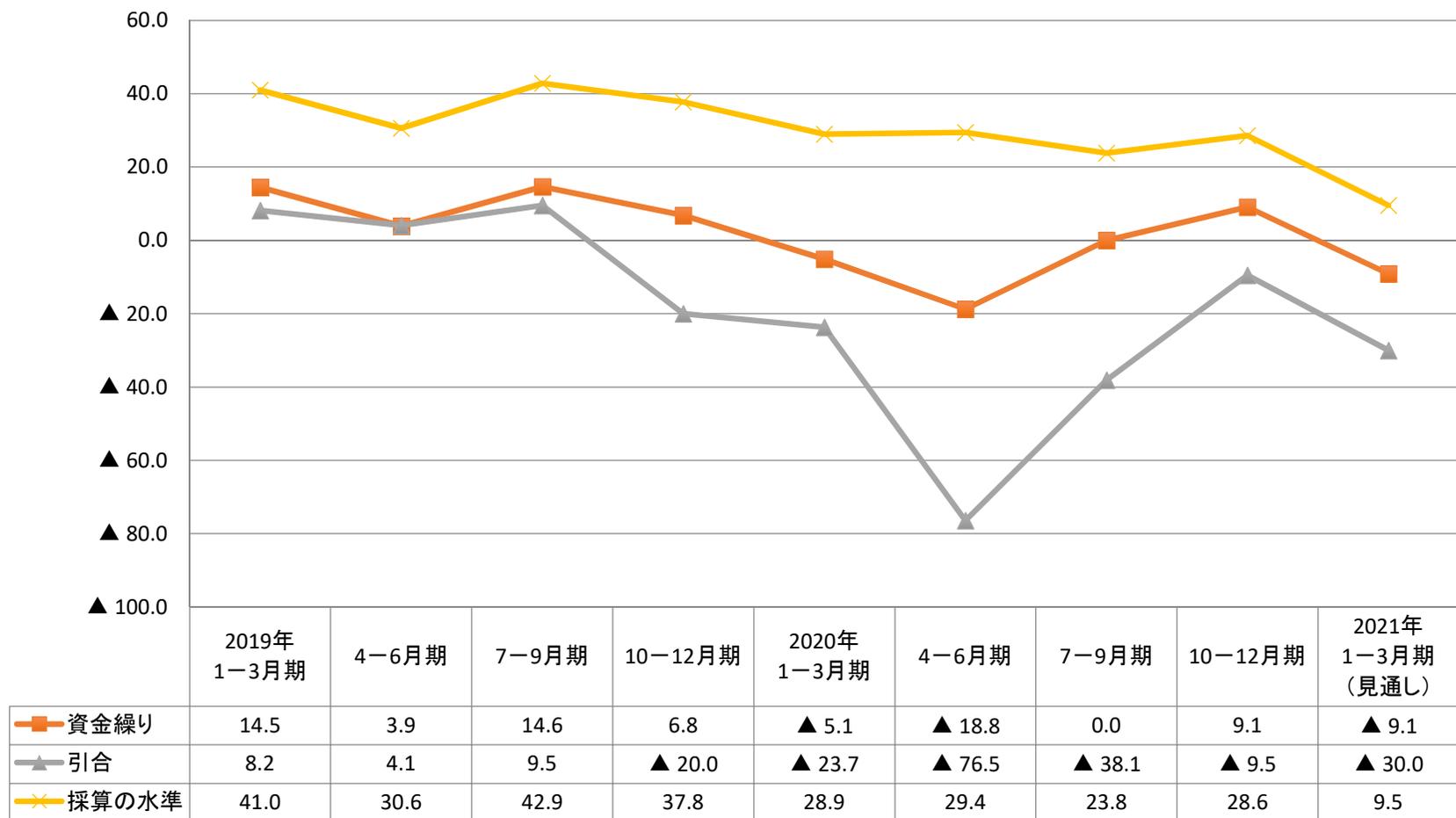
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲19.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲27.3と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・売上DIは▲18.2と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲40.9と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・経常利益DIは▲13.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲27.3と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

### Ⅲ.【建設業】②

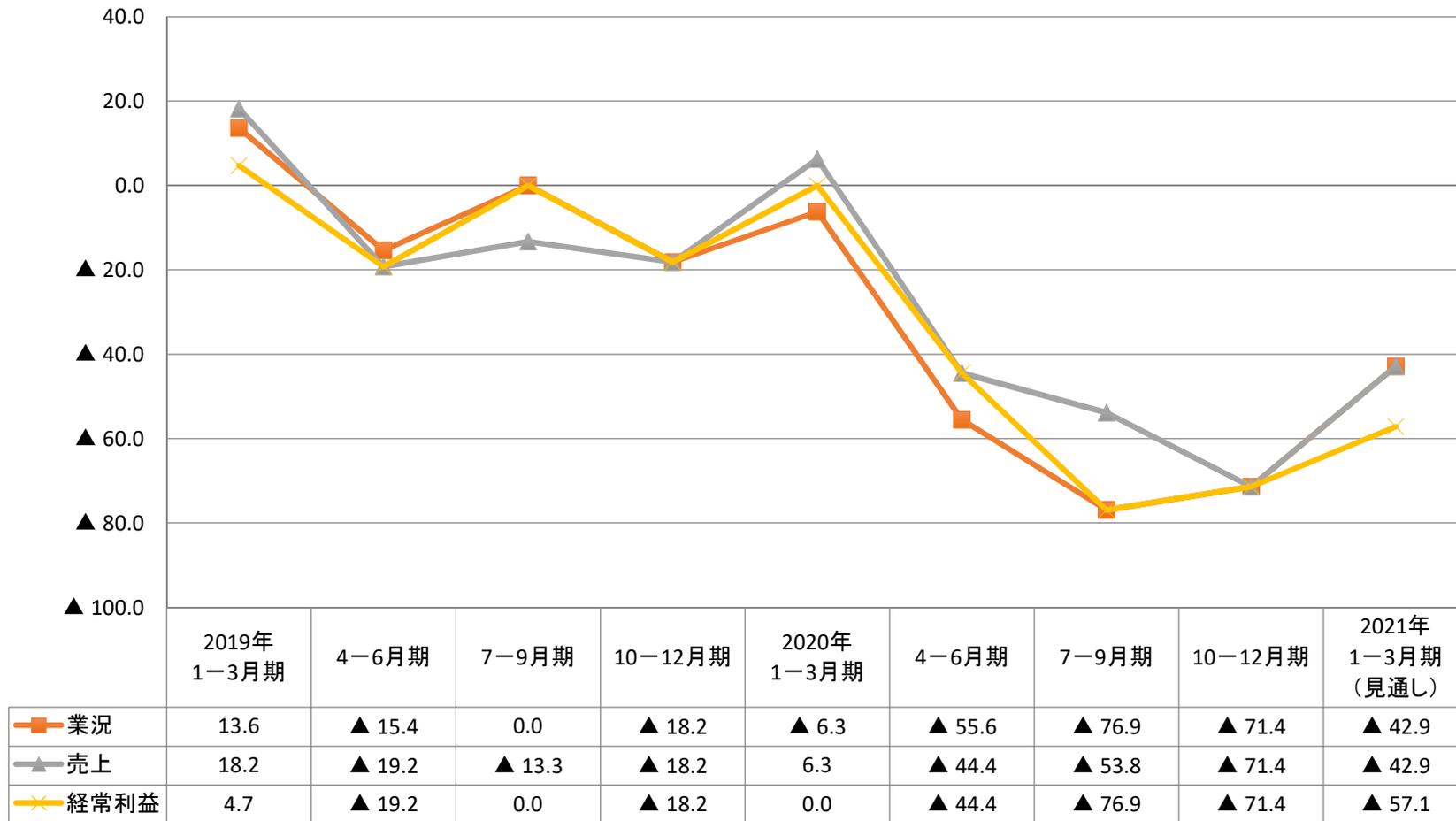
## 資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・資金繰りDIは9.1と、前期に比べプラス幅が拡大した。来期は▲9.1と、今期に比べプラスからマイナスへ転じる見通し。
- ・引合DIは▲9.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲30.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・採算の水準DIは28.6と、前期に比べプラス幅が拡大した。来期は▲9.5と、今期に比べプラス幅が縮小する見通し。

## Ⅲ.【卸売業】①

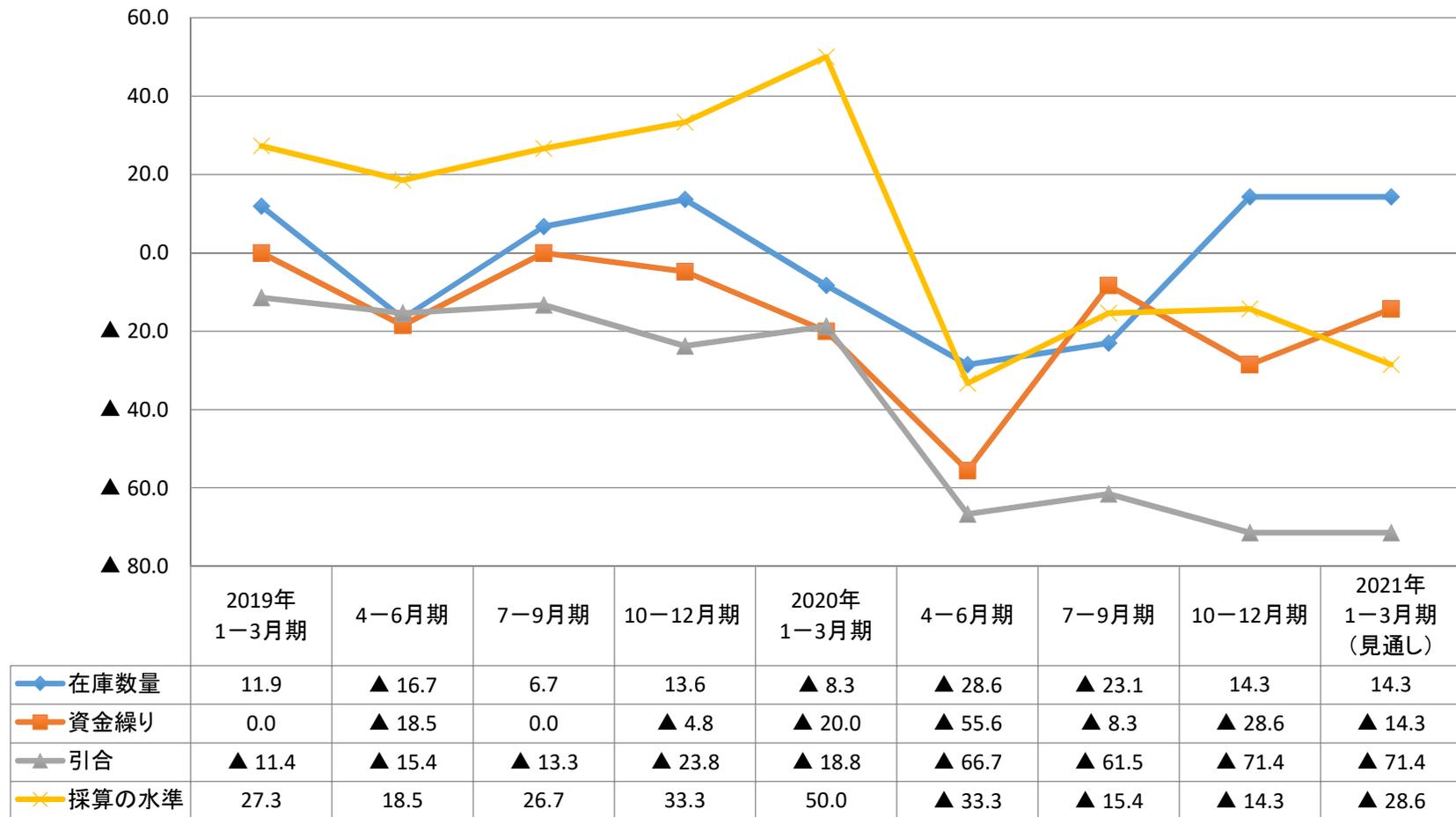
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲71.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲42.9と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲71.4と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲42.9と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲71.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲57.1と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【卸売業】②

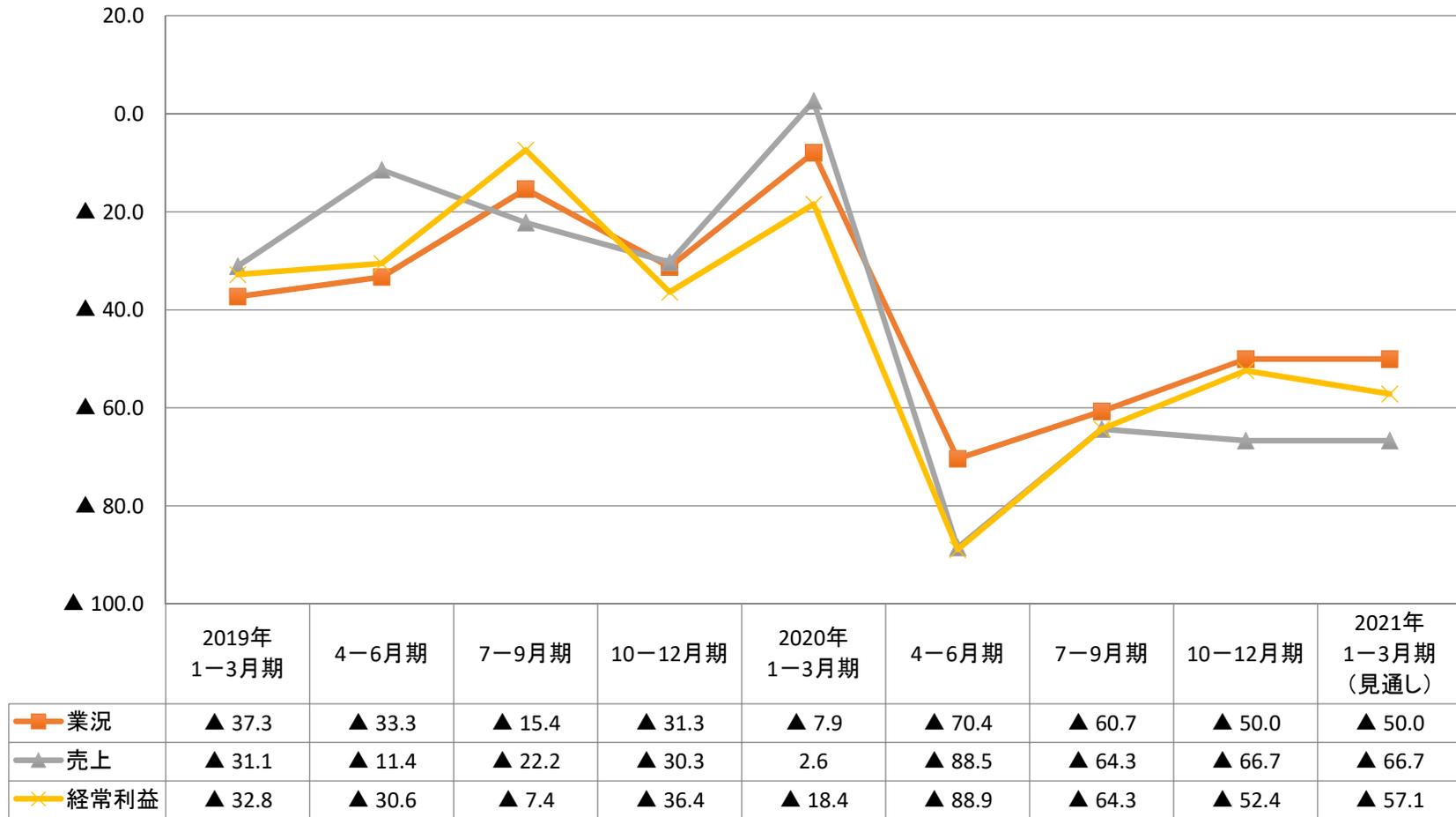
## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは14.3と、前期に比べマイナスからプラスへ転じた。来期は14.3と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・資金繰りDIは▲28.6と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲14.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・引合DIは▲71.4と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲71.4と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・採算の水準DIは▲14.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲28.6と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【小売業】①

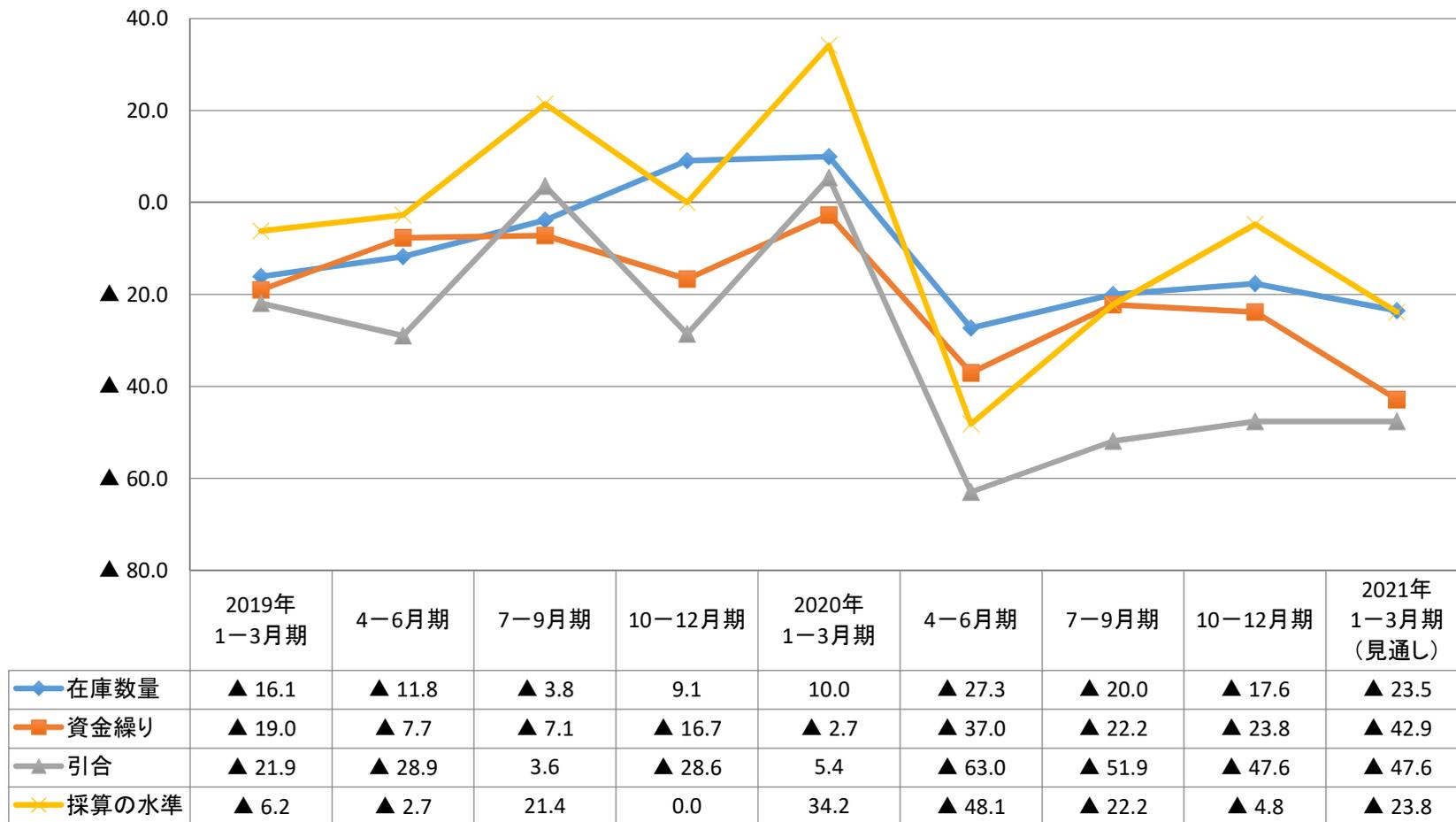
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲50.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲50.0と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・売上DIは▲66.7と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲66.7と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・経常利益DIは▲52.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲57.1と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

### Ⅲ.【小売業】②

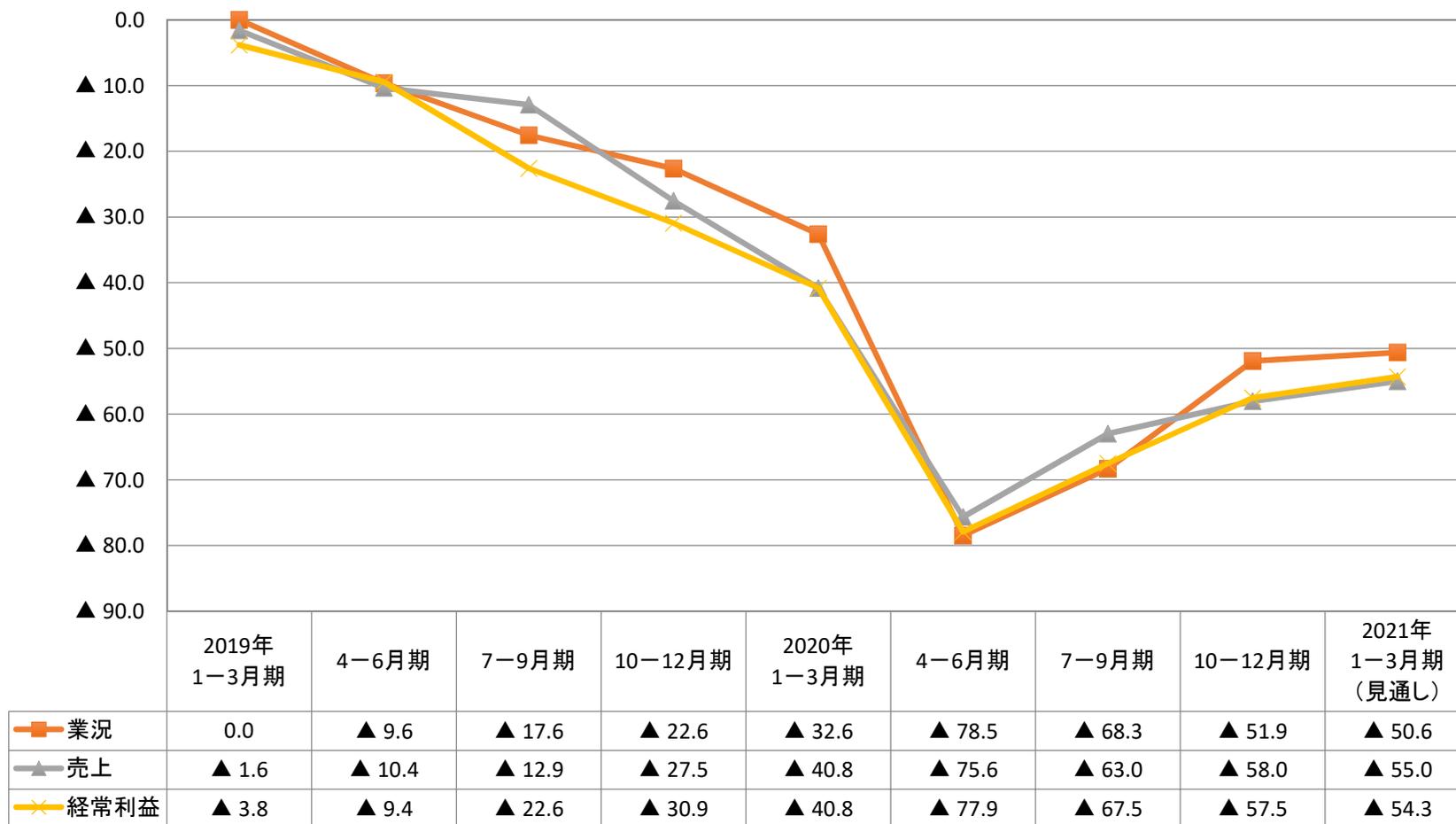
## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲17.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲23.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲23.8と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲42.9と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲47.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲47.6と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・採算の水準DIは▲4.8と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲23.8と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【サービス業】①

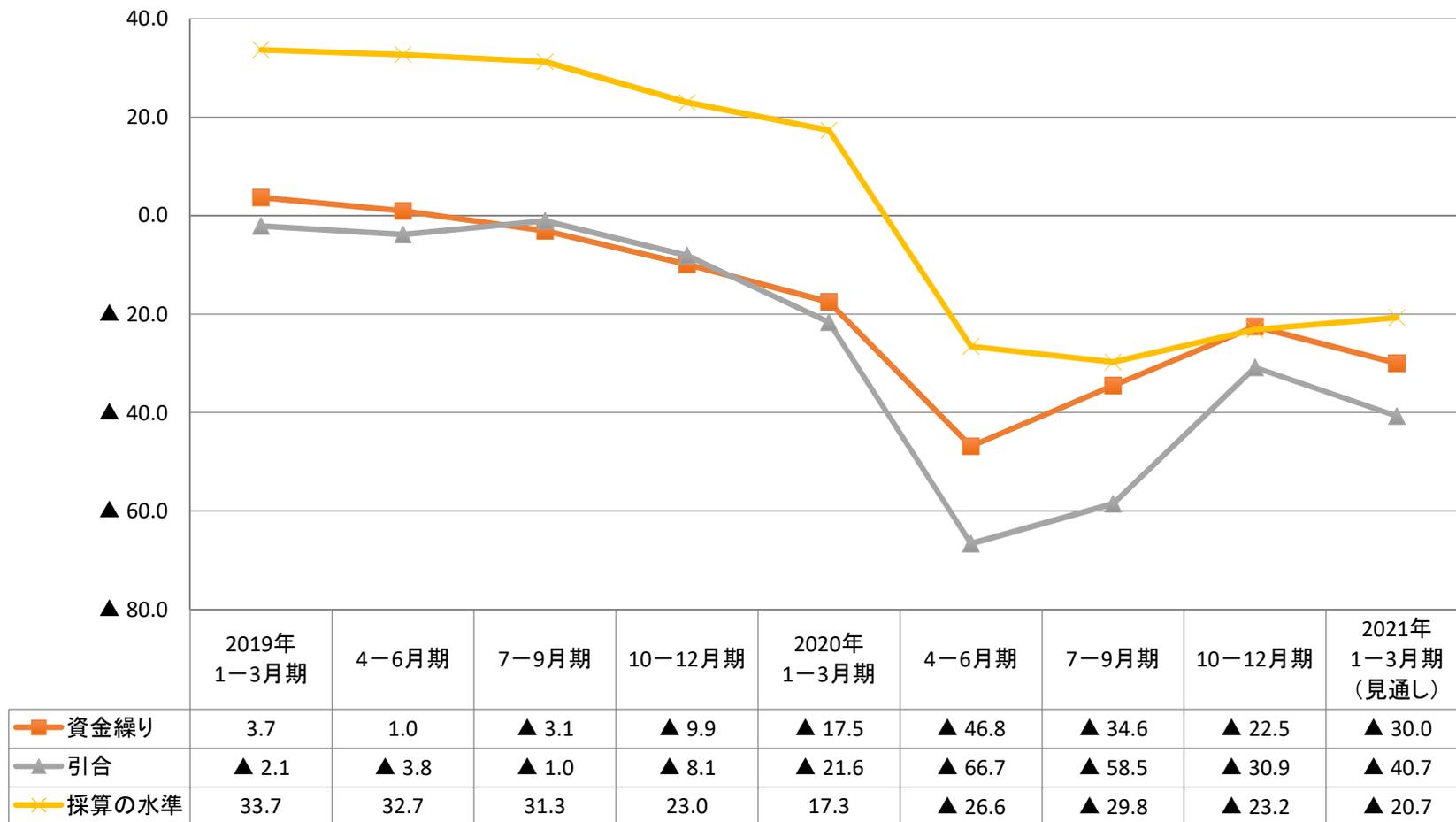
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲51.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲50.6と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲58.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲55.0と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲57.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲54.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【サービス業】②

## 資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・資金繰りDIは▲22.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲30.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲30.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲40.7と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・採算の水準DIは▲23.2と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲20.7と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

## IV.回答企業のコメント



### 【プラスの判断をした企業】

- ・受注設備は新型コロナウイルス感染拡大による影響がなく、来期案件も徐々に増えている状況。(生産用機械器具製造業)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先の発注減少が起きていたがやや緩和し、新規取引先の発注増加と、生産体制の改善により自社経営状況は好転している。(食料品製造業)
- ・新型コロナウイルス感染拡大により経済活動が停滞したが、経済活動再開で回復基調にある。(電気機械器具製造業)
- ・Go toトラベルキャンペーンにより、8月から業績順調であるが、キャンペーンが終了の2月以降は、反動により悪化する見込み。(宿泊業)

### 【マイナスの判断をした企業】

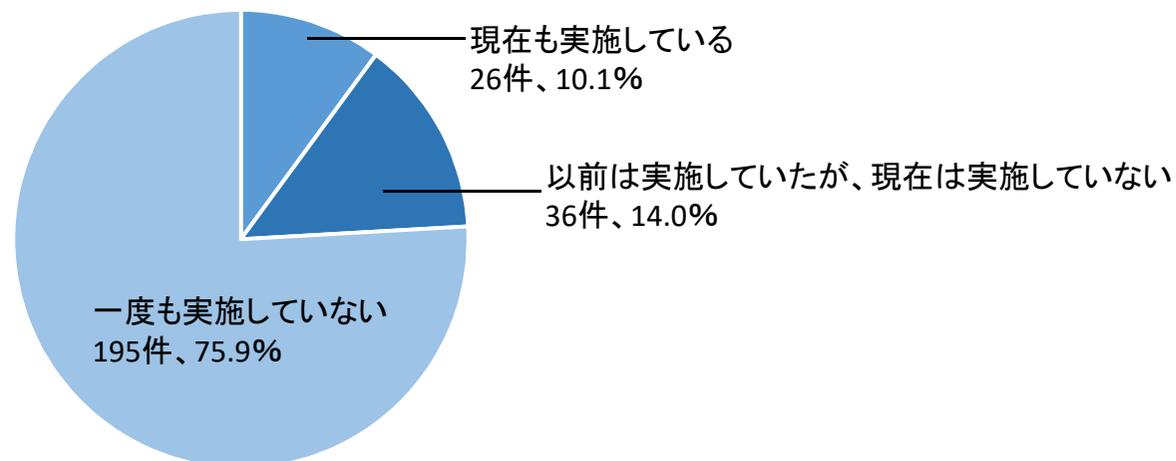
- ・コストの観点から量産品は海外拠点への移管を実施した。国内は開発品を中心に製造している。(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
- ・アパレル素材、着物の需要の減少で売上は減少している。一方で手芸用品向けの加工は堅調である。(繊維工業)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた工事が開始されつつあるが、それ以降の見通しは不明。(設備工事業)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の終息時期がわからないため、楽観的な見通しが立たない。(その他の小売業)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊の需要がなく売上が悪化。(宿泊業)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で設備投資が減少しており、レンタル売上が頭打ちとなっている。(物品賃貸業)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により顧客が大幅減少し、売上も大きく減少。(技術サービス業)
- ・主要取引先との取引停止により、売上が大幅減少し、業績悪化の見込み。(運輸業)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受注が減少状態。(運輸業)

### 【その他】

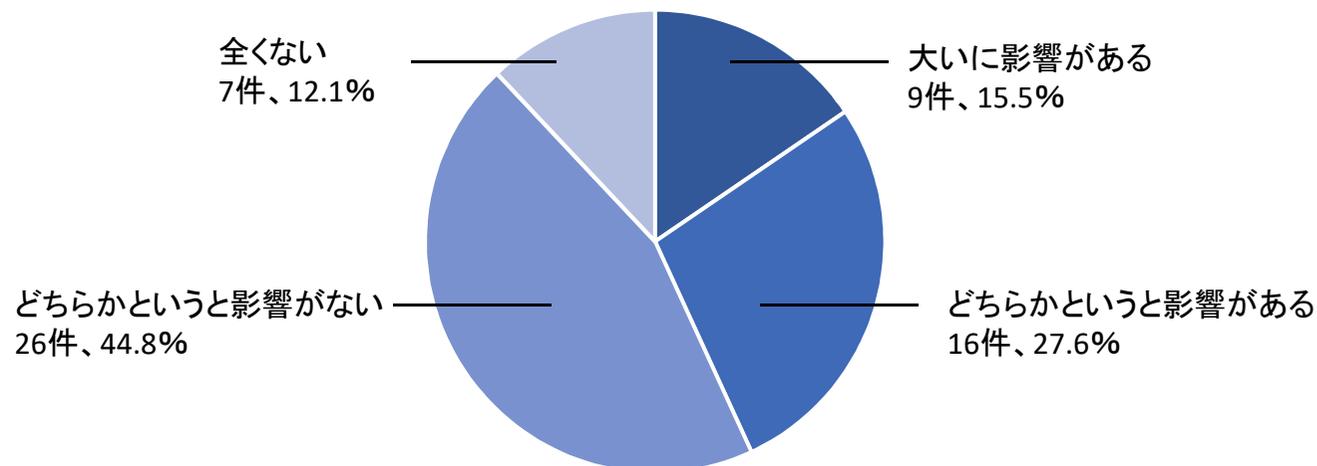
- ・コロナの影響を一部得意先で受け苦戦している。関連会社より新規受注を見込む。(パルプ・紙・紙加工品製造業)

## V.ポストコロナに向けた取組状況について

ポストコロナに向けて、県内企業が実施する在宅勤務などのリモートワークの取組について尋ねたところ(n=257)、「一度も実施していない」が195件となり、次いで「以前は実施していたが、現在は実施していない」が36件、「現在も実施している」が26件であった。

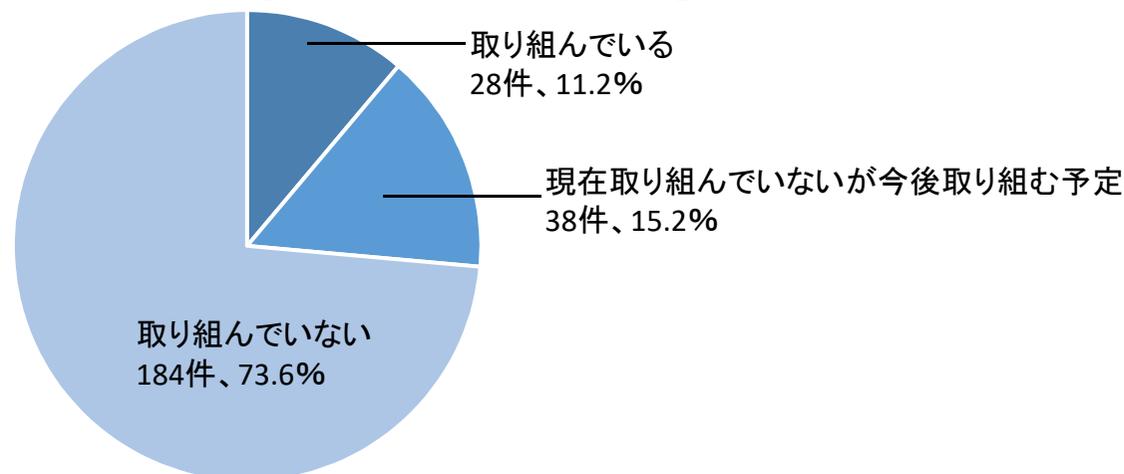


「現在も実施している」「以前は実施していたが、現在は実施していない」と回答した企業に、電子化されていない印鑑(ハンコ)の押印・捺印は在宅勤務などのリモートワークの妨げになっているか尋ねたところ(n=58)、「どちらかというに影響がない」が26件となり、次いで「どちらかというに影響がある」が16件、「大いに影響がある」が9件、「全くない」が7件であった。



## V.ポストコロナに向けた取組状況について

デジタルトランスフォーメーション(DX)について取組について尋ねたところ(n=250)、「取り組んでいない」が184件となり、次いで「現在取り組んでいないが今後取り組む予定」が38件、「取り組んでいる」が28件であった。



デジタルトランスフォーメーション(DX)について「取り組んでいる」「現在取り組んでいないが今後取り組む予定」と回答した企業に、取組内容を尋ねたところ(複数回答)、「業務の効率化による生産性の向上」が最多(55件)となり、次いで「現在のビジネスモデルの根本的な変革」(18件)、「組織マインドの根本的な変革」(17件)となった。

